

会 議 記 録

名 称		中央区スポーツ推進審議会
開催年月日・場所		令和 7 年 2 月 2 0 日（木曜日） 午後 2 時 0 0 分から午後 3 時 0 0 分まで 中央区役所本庁 8 階 第 4 会議室
出席者の氏名	委 員	(出席委員) 近藤 智靖（会長）、坂 なつこ（副会長）、山主 英樹、木本 慎一、森田 俊秀、濱田 徹、北澤 千恵子、浮津 健史、平松 功治、上竹 陽子
	区側出席者	石川スポーツ課長、渡邊体育施設係長、籠山スポーツ事業係長、植野主事
配付資料		1 令和 6 年度第 2 回中央区スポーツ推進審議会次第 2 議題資料 主なスポーツ関連事業の令和 6 年度実施結果及び令和 7 年度予定について
議事の概要		1 開会 2 議題 (1) 主なスポーツ関連事業の令和 6 年度実施結果及び令和 7 年度予定について (2) その他 3 閉会
審議の経過		別紙のとおり

令和6年度第2回スポーツ推進審議会会議録

令和7年2月20日

午後2時00分～午後3時00分

中央区役所8階第4会議室

1 開 会

- 会長から開会の宣言
- 会長が、委員の定足数を満たし、本日の会議が有効に成立していることを報告

2 議 題

(1) 主なスポーツ関連事業の令和6年度実施結果及び令和7年度予定について

- 事務局（スポーツ課長）から主なスポーツ関連事業の令和6年度実施結果及び令和7年度予定について報告

(主な報告・意見・質問の内容)

ー浮津委員ー

・「スポーツの楽しさ発見事業」について、参加可能人数に対してたくさんの応募があったとのことだが、常盤小学校において実施している「走り方教室」は区内女子駅伝チームの「ベアーズ」が協力してくれており、中央区も同様に連携していくことができるのではないかと。

ースポーツ課長ー

・本事業は日本体育大学の助教に講師依頼させていただいているが、ご多忙の中協力していただいていることもあり、実施回数を増やせていないのが現状。参加者やその保護者の方からは非常に好評であるため、ご提案のあった形でご協力いただくようなことも考えながら進めていきたい。

ー山主委員ー

・地域スポーツクラブも「ベアーズ」と連携したイベントを何度か実施しており、チームとの繋がりを持っているため、もしご検討の際には地域スポーツクラブにもお声がけいただけたらと思う。

ー森田委員ー

・水上スポーツ関連施設の整備について、パリ五輪の際はセーヌ川の水質が問題になっていたが、中央区はどうか。

ースポーツ課長ー

・まだ未定なことが多いが、どのように安全に使用していただくか今後詰めていく必要があると思っている。もちろん水質については、どのような安全基準があるのかなど、今後様々な調査をしていかななくてはならないと考えている。

ー浮津委員ー

・近隣である江東区の水上スポーツ施設では、中学生などがカヌー競技等を行っており、水質は問題なさそうであるが。

ースポーツ課長ー

・昨年１０月に民間団体が朝潮運河にて、ローイングボード体験会を実施した実績はある。

ー山主委員ー

・地域スポーツクラブでもカヤックを展開しており、区民スポーツの日においてもカヤック体験を実施しているため、上手く活用していただければと思う。

ー坂副会長ー

・ボッチャ練習会について、参加者の少なさや固定化を課題に感じる。なにか対応策があれば検討していただきたい。また、デフリンピックに関して、中央区はどのような普及啓発活動を行っているか。

ースポーツ課長ー

・ボッチャに関して、障害者向けの体験会を開催する際に“会場に行くこと”がハードルとなっている。主催側が訪問して体験会を開催すると喜んでいただけるので、今後どのように改善できるか検討をしていきたい。デフリンピックに関しては、以前の認知度が１０％台であったものの、昨年１１月の東京都が実施した調査においては３９％まで上昇しており、普及啓発の重要性を感じている。中央区としては、今年１月にデフフットサル日本代表監督に来ていただき、講演会を実施した。指導者向けの講演会と謳っていたことから一般の参加者が少なく、定員１００名のところ２０名ほどの参加となり非常にもったいなかったと感じている。今後、周知方法などを工夫していきたいと考えている。

ー平松委員ー

・晴海西の利用率について、これは良い利用率ということでもいいか。他の学校との比較はどうか。小学校の校庭の利用率が低いように感じるが課題ということか。

ースポーツ課長ー

・体育館については１００％近くの利用があり、場所が足りていないという課題がある一方で、校庭については低い利用率となっており、ぜひとも場所の活用をしていただきたいという思いがある。晴海西は校庭が人工芝であることから小学校も中学校もフットサルかサッカーのみの開放としているため、小学校と中学校で利用団体が分散されていることや、開校したばかりで認知度が低いことが低い利用率の要因ではないかと考えている。対策についてはこれから検討していきたい。

ー木本委員ー

・晴海西小・中のグラウンドはどのくらいの広さか。サッカーにおいては大人がサッカーできる大きさか。

ースポーツ課体育施設係長ー

・小学校はフットサル１面、中学校はフットサル２面もしくはサッカー１面をとれる。公式のサッカー規格では無いが、サッカーをするにあたって大きな支障が出ない広さを確保している。

(2) その他

○ 会長からその他議題があるか委員及び事務局に確認

(主な報告・意見・質問の内容)

ー浮津委員ー

・学校温水プールについて、普段どのように開放しているか。

ースポーツ課体育施設係長ー

・小学3年生以下は保護者同伴のルールがあるが、基本的に自由に泳げるような形をとっている。

ー浮津委員ー

・暑さ対策の観点から、常盤小学校では夏休みのプール開放ができていない状況。今後同じような学校が増えてくると思うが、子どもたちにとってスポーツ課で開放している温水プールに行くことが一番安全だと考えている。

ー山主委員ー

・学校の使用に関して、スポーツ課と教育委員会で利用申請等が分かれているが、一本化できないだろうか。

ー浮津委員ー

・学校側としても、一本化していただけると助かる。

ースポーツ課長ー

・我々も教育委員会から場所を借りてスポーツ開放を実施している。利用区分が、スポーツ課と教育委員会で分かれており、事務的にどちらかが業務を受け持つことは不可能では無いものの、現在、地域の団体と学校の間で行っている調整をスポーツ課で責任を持って行うのは難しいと考えている。改善の余地がないかこちらとしても検討していきたい。

ー山主委員ー

・城東小学校ではQRコードを利用して施設利用の申請を行っているようだが、もしわかればどのようなものか教えていただきたい。

ースポーツ課長ー

・こちらも理解していないが、城東小学校は民間が運営しており、区のスポーツ開放とは別物のため、QRコードの件は把握していない。行政とはまた別のシステムによりQRコードというツールを導入したのではないかと考えられる。

ー森田委員ー

・この場をお借りして浮津委員にお伺いしたいが、京橋築地小学校や明石小学校において夏休みのプールが実施できていない状況と聞いている。屋内プールの学校も同様に実施できていないのか。

ー浮津委員ー

・屋内プールを持っている学校は何回か実施できている。個人的には、今後、屋内プールを持って いる学校以外の生徒も参加できるような仕組みができれば良いと考えている。

○ 会長から最後に事務局からの報告がないか確認。

○ 事務局からは連絡事項なし。

3 閉 会

○ 会長の閉会挨拶により終了